

就職体験談

卒業生氏名：趙 史唯

卒業年度：2025 年 3 月

卒業学部：中部学院大学 人間福祉学部人間福祉学科

就職活動において、まず自分がどのような介護職に従事したいかを明確にすることが重要です。デーサービス、老人ホーム、老健など数多くの選択肢の中から、私は特に老人ホームを自分の職業の出発点として選びました。

職種が決まったら、次は面接の準備に入ります。その際、第一印象の大切さを強く認識しました。そのため、この福祉施設についての詳細な情報を集めました。サービス理念やチーム構成などの情報が、面接時の自己紹介や質疑応答の際に非常に役立ちました。また、面接で尋ねられる可能性のある質問についても考慮しました。例えば、「なぜ介護士の仕事を選んだのか」、「自己PR」、「自分のキャリアプラン」などです。これらに対する準備を十分に行い、自分の職業ビジョンを整理したり、実際の状況に合わせて模擬面接を行ったりして、何度も練習を重ねました。

さらに、マナーの練習も非常に重要視しました。外国人であるからといって、日本の面接時の基本的なマナーを疎かにするわけにはいきません。私たちの一つ一つの動作や表情が、相手の感情や気持ちに影響を与える可能性があるため、面接では自分の素養を十分に示せるよう努力しました。

「チャンスは準備をしている人に訪れる」という言葉があるように、今回の介護士としての就職活動を通じて、準備の重要性を深く実感しました。志望する施設の理念や特徴を詳しく調べ、自分がどのように貢献できるかを具体的に考えたことで、志望動機を明確に伝えることができました。今後も、常に準備を怠らず、利用者の笑顔と安心を支える介護士として成長していきたいと思えます。